福井県公安委員会　開催概要

平成２２年１２月１０日開催「移動公安委員会」

（永平寺警察署）

会議状況

1　永平寺警察署管内情勢報告

永平寺警察署長から、永平寺警察署管内の治安情勢及び本年４月以降の重点取組み等について報告があった。

委員から、「管内における交通死亡事故は過去３年間発生していないとのことであるが物損事故は増加している。その原因は何か。」との質問があり、県警察から「携帯電話使用中の交通事故やスーパーやコンビニの駐車場での交通事故が多く発生した。また、大通りより旧町内の細い道路での事故が多く、運転者の気の緩みが原因と考えている。」旨の説明があった。

委員から「福井警察署との合併が迫ってきており、警察署合併によるメリットとデメリットをきっちり説明するなど、警察署廃止後の治安対策等について再度地元住民の理解を得ておく必要があると思う。」との発言があった。

委員から、「年末・年始に向けて、永平寺への初詣に伴う警備等で業務多忙になると思うが、しっかり頑張っていただきたい。」との発言があった。

2　包括的案件

〈報告事項〉

（１）福井及び大野市内における放火事件の検挙

県警察から、本年１２月３日に発生した福井市内の老人ホームにおける放火未遂事件及び本年１２月４日に発生した大野市内の一般住宅における放火事件について、事件概要及び被疑者を検挙した旨の報告があった。

委員から「放火事件の犯人検挙には苦労が伴ったと思うが、いずれの事件も初動捜査が的確であったことが検挙に結びついたものと思う。」との発言があった。

（２）福井市内のコンビニにおける強制わいせつ事件の検挙

県警察から、本年２月１６日に福井市内のコンビニエンスストアで発生した強制わいせつ事件の概要及び本年１１月２５日に被疑者を逮捕した旨の報告があった。

委員から、事件端緒について確認があり、県警察から「本件は、レディーステレホンを通じて被害者の友人から相談があり、それを端緒として捜査を進めた。」との説明があった。

委員から「９か月に及ぶ長期間の捜査により犯人を逮捕したことは捜査員の努力の結果であり、被害者にも大きな安心感を与えたと思う。」との発言があった。

（３）ヤフーオークション利用による海賊版ソフト販売被疑者の検挙

県警察から、ヤフーオークションを利用して海賊版ソフトウェア等を販売していた被疑者を本年１１月２５日に著作権法違反で逮捕した旨の報告があった。

委員から、「この種犯罪は、増加しているのか。」との確認があり、県警察から「ソフトのコピーは素人でも簡単にでき、報道機関など著作権関係業者でさえ違反する者がいる。同種犯罪の積極的な事件化等により警鐘を鳴らしていきたい。」旨の説明があった。

委員から「ＩＴ社会においてこの種犯罪はさらに増加すると思うが、捜査体制は十分なのか。」との確認があり、県警察から「県警察にはサイバー犯罪対策支援室があり、これらの犯罪に対応できる専門の捜査官を確保している。この他にも情報管理課や情報通信部等、捜査体制は十分確立していると考えている。」旨の説明があった。また、県警察から「情報通信部は情報通信のプロフェッショナルの組織であり、情報管理課はシステム関係の専門技官を配置しており、それぞれが相当に高いレベルの知識技能を有している。」旨の説明があった。

（４）平成２３年福井県警察運営指針及び運営重点

県警察から、平成２３年福井県警察運営指針及び運営重点の内容並びに策定の趣旨について報告があった。

委員から「来年の運営重点は昨年より具体的に表記されていて良いと思う。この方針の下でしっかり取り組んでいただきたい。」との発言があった。

（５）平成２３年福井県警察の月間等、年間行事計画及び月別広報重点

県警察から、平成２３年の福井県警察の月間、年間行事計画及び月別広報重点の趣旨や主な変更点等について報告があった。

委員から、新たに設定した高齢者交通安全推進月間に関し、高齢者の交通事故の発生割合について確認があり、県警察から「本県では交通事故に占める高齢者の割合は全国ワースト１０に入っている。高齢者の割合が高いのは公共交通機関が発達していない県に多い状況にある。」との説明があった。

（６）年末の交通安全県民運動の実施

県警察から本年１２月１１日から１２月２０日までの間に実施する年末の交通安全県民運動の目的、重点及び主なイベント等について報告があった。

委員から「現在、高齢者交通死亡事故多発警報が発令中であり、これ以上、死亡事故が発生しないように飲酒運転や速度超過等の危険で悪質な違反の取締りを徹底していただきたい。」との発言があった。

（７）拉致問題関連啓発活動

県警察から、毎年１２月１０日から１２月１６日に実施している北朝鮮人権侵害問題啓発週間及び拉致問題啓発のための報道関係者・専門家招聘事業について報告があった。

委員から「拉致問題が風化しないよう、積極的な広報により県民の拉致問題に対する意識高揚を図っていただきたい。」との発言があった。

（８）北朝鮮による延坪島（ヨンビョンド）砲撃に伴う警備措置

県警察から、本年１１月２３日に発生した北朝鮮による延坪島（ヨンピョンド）砲撃に伴う警備措置について報告があった。

委員から「ミサイル砲撃等の事態に至り、原発については自衛隊を含めた警備が必要ではないのか。」との発言があり、県警察から「県警察では自衛隊との協力関係の協定を締結しており、治安出動を想定した実動訓練や図上訓練を実施している。」との説明があった。また県警察から「委員が懸念されるような場合には自衛隊が出動できる態勢は整っている。」旨の説明があった。

３　運転免許の処分関係

本日（１２月１０日）実施した道路交通法違反等に関する意見の聴取９件の実施結果と処分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。

４　個別決裁

（１）運転免許取消処分に対する異議申立の決定

運転免許取消処分に対する異議申し立て（本年１０月受理）について「却下する」旨の決定書（案）を決裁した。

（２）交通事故に係る知事専決処分

本年９月に発生した警察職員による交通事故について、地方自治法等の法令に基づき、知事専決処分の手続きを経て損害保険により賠償金を支払い、和解を図る方針である旨の報告があり、これを了承した。

（３）平成２２年１１月中の警察あて苦情の受理・処理状況

本年１１月中に警察に寄せられた苦情の受理及び処理状況について報告があり、これを了承した。

（４）第１１８次特別派遣部隊の援助要求

原発警備に係る第１１８次の県外特別派遣部隊の援助要求について、愛知県公安委員会からの同意について報告があり、これを了承した。

（５）第１２０次特別派遣部隊の援助要求

原発警備に係る第１１８次の県外特別派遣部隊の援助要求を原案のとおり決裁した。